



EQUAL

ホワイトペーパー v2.0


2018.02















アルファビルド






Total Balance
\$129,000.00

+120%

0x1db834aD5CA73782Dcb3d889744... 

Balances	History
 ETHEREUM 67 ETH	↓ 9% 
 EQUAL 6,789 EQL	↑ 33% 
 SALT 230 SALT	↑ 19% 
 GOLEM 550 GNT	↓ 22% 
 STATUS 100 SNT	↓ 9% 
 BountyOx 550 BNTY	↑ 119% 
 DistrictOx 1,200 DNT	↓ 2% 

目次

概要	1
理念	2
トークン	3
エアドロップ		
バーンを通じたデフレ		
基盤技術		
イーサリアムブロックチェーントークン		
自由自在なスマートコントラクト		
ウェブ3.0 API		
エコシステム	4
エコノミクス		
コミュニティ		
バウンティ/マーケティング/コンテスト		
バウンティキャンペーン v1.0		
バウンティキャンペーン v2.0		
バグ・バウンティ		
バウンティ予算		
開発	5
ウェブウォレット		
従来型ウェブウォレットの有する課題		
EQLウェブウォレットの持つ機能		
ロードマップ		
主要暗号通貨の追加		
iOS版・Android版ウォレットの開発		
インセンティブ・フォー・ステーク(IFS)		
シードオファーリング/パートナーシップ	6
シードオファーリング		
シードパートナーシップ		
チーム	7
資金調達		
ソーシャルリンク	8



概要

トークン市場は急速に成長しています。しかしファンドプロジェクトを目的として作られたクローズドループ・トークンが普及すればするほどトークン市場は統合できなくなっていくます。今や1000種類以上のトークンが流通していますが、そのほとんどは使い道が一つしかありません。そのためトークンは各々が分断されて暗号通貨の利用はさらに複雑になっています。

この分断されたトークン市場の橋渡しをするもの、それがEQLエコシステム——EQLチームと、そしてシードオフリング・ファンドを活用してインセンティブを受けた開発者コミュニティとが分担して構築し、相互接続することで作り上げられるアプリケーションネットワークです。

EQLプロジェクトの目的は、インセンティブを受けたサービスや、EQL ネットワークトークンを利用したシンプルで使いやすいサービスにより、暗号通貨を容易に、効率的に利用するための製品一式を提供することです。

EQL 製品は、第一には我々のチームが構築します。これはブロックチェーン技術を活用し、大量のアクセシビリティが期待できるユーザーフレンドリーなアプリケーションを作成するための製品規格やブランディング、ビジョンに基づいて行われることとなります。

そしてEQLネットワークトークンを利用した高品質なサービスを作り上げるため、EQLはシードオフリング・ファンドを申請した開発者コミュニティにも権限を与えることにしています。EQLトークンをベースにサービスを考案すればその開発者は収入を得られる仕組みになっており、これは同時にトークン自身や既存のEQL製品の本質的価値がさらに高まっていくことに繋がります。



理念

EQL は、自らのコミュニティに留まらず全暗号通貨コミュニティの発展に焦点を当てた初めての暗号通貨コミュニティです。我々の使命は、新規参入者にも容易く受け入れられ、分散型ブロックチェーン技術の主流として利用されるユーザーフレンドリーな通貨、コミュニティ、製品エコシステムを作り上げることなのです。



トークン

EQUALネットワークトークン (EQL) の価値が、全EQL 製品およびサービスの中核となります。

EQLネットワークトークンには、バーンを通じたデフレ (DTB) というユニークな機能があり、トークン所有者は報酬が得られる仕組みになっています。EQLネットワークトークンは、EQLチームやサードパーティ開発者が今後開発するサービス・製品にも実装されます。サービス料、月額会員費、または単なる支払い方法の一つとしてなど、開発者には様々な形でEQLトークンを介して収益を上げられる可能性があるのです。

EQL ネットワークトークンで何ができるか？

-
- 全EQL 製品およびサービスの支払いに利用できます。
- 今後EQL エコシステム用に作られるサービス代金を割引できます。
- EQLトークンの供給量が漸減するため、トークン所有者は安定的な長期成長を期待できます。

(適切な製品提案が可能になれば、スマートコントラクトのアップデートが行うことができます。)

エアドロップ

.....

EQUALという名称は、当プロジェクトが選んだ無料配布方法から派生したものです。エアドロップは2段階行われ、7000以上のユーザーが参加しました。

我々はエアドロップこそがEQLを配布するに当たり最も透明性の高い方法であると信じています。EQLの価値は内々で談合されたICO価格のように作為的に決められたものでは断じてなく、我々の信じる進化型エコシステムへの製品開発を通じて決まるものなのです。

バーンを通じたデフレ

.....

通貨のバーン機能には注目すべき利点があります。投資家の収益を目的としたもの、市場のインフレ防止に役立つもの、そして我々が信じる進化型エコシステムの発展に寄与するものなどです。

- 現在、EQLの送金には1トランザクションにつき1%、上限250EQLのバーン手数料がかかります。「バーンを通じたデフレ (DTB)」と呼称されるその目的は、通貨を安定させインフレの影響に対して堅実に成長させることにあります。EQLの循環供給を低下させることでトークンを欠乏させ、より高い需要を生み出すという仕組みです。EQLトークン所有者は、トークンのバーンにより時間が経つにつれて総供給量に対する自らの所有割合が増加していくことに気づくはずですが。
- EQLのバーン率と手数料は、コミュニティのコンセンサスを受けて手数料が調整されない限りは、現在のものが継続されます。

バーン手数料の具体例

総送金額に対し、**250EQL**を上限として1%のバーン手数料がかかります。たとえわずか**1 EQL**の送金であっても**1%**以上はかからないため少額転送が可能です。一方で上限を設定することにより高額送金時でも手数料が高騰しないよう保障しています。

【例1 25000 EQL未満の少額送金 ⇒ 送金手数料: 1%】

★ジェームズがジェシカに**100 EQL**を送信する場合(ジェームズの保有残高は**200 EQL**とします)

送金額:**100 EQL**

バーン手数料:**1 EQL**

送金に必要な残高:**101 EQL**

差し引き残高:**99 EQL**

【例2 (25000 EQL以上の高額送金 ⇒ 送金手数料: 250 EQL)

★ジェシカがローレン**41000 EQL**を送信する場合(ジェシカの保有残高は**10万 EQL**とします)

送金額:**41000 EQL**

バーン手数料:**250 EQL**

送金に必要な残高:**41250 EQL**

差し引き残高:**58750 EQL**

基盤技術

.....

イーサリアムブロックチェーントークン

EQLは、イーサリアムネットワーク上に構築されたERC-20トークンなので、イーサリアムコミュニティによって開発された既存のブロックチェーンインフラとスマートコントラクトのメリットを生かすことができます。これは裏を返せば、あるアドレスから別のアドレスへEQLを送金する度に、ガスとしてイーサリアムの残高が必要なことを意味しています。

自由自在なスマートコントラクト

さらなる機能追加オプションも可能になりました。今後の製品開発のためEQLネットワークトークンを証明し、スマートコントラクトの条件の追加が必要になる可能性もあります。どんどん拡大するアプリケーションベースに向けそのユーティリティを拡張し常に進化し続けることができるからこそ、EQLは真にマルチプラットフォーム対応だと言うことができるのです。

ウェブ3.0 API

EQLウォレットを利用すれば、ユーザーは暗号資産を簡単に管理できます。**Web3.0 API**に準じているため、将来の分散型アプリケーション (**DAPPs**)・分散型取引所 (**DEXs**) への統合も容易です。取引所がこの先分散化されていくと確信している我々は、**EQL**ウェブ拡張機能を使うことでその一助を担い、この移行をできる限りシンプルにしたいと考えています。なお、**EQL**プラットフォームやネットワークを利用することが原因でユーザー情報やプライベートデータが保存・アクセスされるようなことはありません。



エコシステム

EQLエコシステムは、現在開発中のコアEQLウェブウォレットから、EQL DEXや暗号投資プラットフォーム、さらにはEQLシードオファリングプランを通じて推進される膨大なプロジェクトなど今後提案されるサービスに至るまで、信頼性の高い一連のサービスをエントリーレベルのユーザーに提供することを目的としています。ただ一つのマルチプラットフォームトークン(EQL)により強化されたサービスの統合ネットワークを構築することで、設計、コミュニティ、トークンユーザビリティ、その全てが向上します。

エコノミクス

.....

- 初期からEQLを所有し投資目的で保持している方は、トークンの総供給量が減少することでメリットがあります。一方短期的な投機目的でEQLを取引している人もまた、循環供給量を減らす役目を担うこととなります。
- EQLの価格が一時的に下落してトランザクションサイズが拡大すると、トランザクションごとにバーンされるEQLの量が増加し、結果としてバーン速度が速くなります。こうなると循環供給量は減少し市場の需要が増すため、理論的に言ってトークン価格は上昇します

コミュニティ

.....

「周りを引き上げることで自らも高める」

EQLは無料の初期配布からバウンティのクリエイティブコンテスト、毎週のコミュニティチャレンジやシードオフアールングフェーズに至るまでコミュニティ主導のプロジェクトです。皆が学べ、楽しめ、温かく魅力的な空気感を作ることによってユーザーの意見共有や主張がしやすくなっているのです。

我々は特別なものを作るために集まっていますが、それは我々だけでは実現できません！ 我々が考案し、進め、思い描くすべての基盤はコミュニティなのです。多数の方の創造性を具現化し、インスピレーションを得たいのです。我々が製品やアイデアを考案する際常に掲げる目標は、EQLコミュニティに継続的な実体を提供することであり、また暗号通貨コミュニティが持つ多くの欠点をEQLがどのように改善できるかを教示することにあります。

暗号通貨は、力が真に人々の手にあることを、そしてEQLコミュニティにはその道をリードするきっかけがあることを証明しています。

バウンティ／マーケティング／コンテスト.....

EQLはコミュニティ主導のプロジェクトです。そのため誠実なフォロワーや我々のプロジェクトに価値を与えてくれる方への報酬については徹底的に議論を重ね、バウンティに関する2年計画を策定しました。その目的は、チームとしてのEQLとプロジェクトとしてのEQLが今後も成長し続けることをコミュニティに広く証明することです。ソーシャルメディアキャンペーンや署名キャンペーンなど、他のトークンがよく行う一般的なキャンペーンを予定している他、強固なコミュニティ成長に焦点を当て、交換所のインセンティブ導入を促すための交換所投票キャンペーンも実施します。

立ち上げ以来実証してきたように、EQLはイノベーションと最適化の最前線を目指しており、常に刺激を受けたいというコミュニティの欲求を満たし続けるためエキサイティングで斬新なバウンティを考案していきます。そしてEQLがたくさん保有されるような綿密な計画を引き続き発表していき、バウンティが製品やサービスリリースに繋がることを目指します。バウンティを通じて我々の事業とコミュニティとが結びついてほしいと切に願っています。

我々の到達目標はコミュニティを教育することにより、コミュニティ・メンバーが新規参入者などに対しEQUALを広げることができます。それにより、暗号通貨界最適化という目的達成へ効率よく近づけます。

1. 1回目のバウンティキャンペーンはごく簡単なもので、改善テストのような意味合いがあります。コミュニティから意見を受け取った上で、EQLの最初の製品リリースに合わせてキャンペーンを更新できるように努めています。
(v1.0-v2.0の間でイテレーションが追加される可能性があり、その内容にはコミュニティの改善が含まれます)

実施予定のバウンティ

- BTT(ビットコイントーク) Ann/バウンティスレッド翻訳
- ソーシャルメディア
- コンテスト
- 取引所投票

2. バウンティキャンペーン v2.0

2回目のバウンティキャンペーンでは、ビデオ/ブログのプロモーション・バウンティを行います。ここでは多様なメディアを試すことができます。また、1回目のバウンティでコミュニティから受け取った意見をもとにフォーマットや条件、構造を改善し、もっと効率的なソーシャルメディアバウンティ・キャンペーンを発表する予定です。

実施予定のバウンティ:

- EQLウォレット&トークン・ビデオレビュー
- EQLウォレット&トークン・ブログレビュー
- 署名キャンペーン
- ソーシャルメディア(改善版)
- コンテスト
- 取引所投票

3. バグ・バウンティ

我々は安全で信頼性の高い製品保証を最重要の目標と位置づけ、高品質でユーザーフレンドリーかつ安全な製品を無料でコミュニティへ提供できるよう邁進しています。大規模なバグ・バウンティは、セキュリティ上の欠陥を発見できるサードパーティの開発者向けに提供されます。バウンティ額は検出されたバグの重大度に基づいて決まりますが、実行可能なバグ解決策を示すことが受給条件となります。

4. バウンティ予算

•

EQLは2年計画で8つのバウンティキャンペーンを実施し、条件を満たした方々へ計4000万EQLを配分します。一丸となって成長し、コミュニティを常にアクティブに保つよう頑張りましょう。バウンティキャンペーンv1.0には1200万EQLの予算を組み、3ヶ月ごとに新キャンペーンを開始予定です。ただし現時点でのEQL価格、総供給量、キャンペーンの重要性など、各キャンペーンの予算編成に影響する要素はいくつもあるため、それぞれの予算額発表は各キャンペーン開始の2週間前とさせていただきます。

2年計画の総予算:

4000万 EQL

バウンティキャンペーンv1.0 = 1200万EQL



開発

EQLネットワークトークンやEQL実装製品は、暗号化技術・ブロックチェーン技術の発達を目指して使いやすく設計されています。EQLウェブウォレットは、高品質な暗号関連アプリに関する我々のビジョンを示す最初の製品となるでしょう。

ウェブウォレット

.....

EQLウォレットの核は、ERC-20トークンの保有・送金・受け取りの劇的な簡易化にあります。従来型ウォレットの煩雑さをなくし、暗号通貨のさらなる大量管理・大量転送の実現を目指しています。

EQLウォレットは現在グーグルクローム用に開発されており、クロームウェブストア経由でダウンロードできるようになる予定です。DAPP(非中央集権・分散型アプリケーション)とDEX web3.0(分散型取引所 web3.0)との統合を活用したウォレットになっています。iOS版・Android版については、クローム版リリース後ただちに開発を開始します。

ベータテスト中にはコミュニティメンバーから何名かを抜擢し、ウォレットの機能性テストや改善点の指摘、提案をお願いします。また同時にバグ・バウンティプログラムを開始し、開発者たちにはウォレットコードに脆弱性が潜んでいないか確認作業を行ってもらう予定です。

(発展性と安全性の観点から、EQLウォレットは現在メタマスク・オープンソース・プロジェクト上に構築されています。しかしEQLウォレットのアップグレード時には、主流採用に向けた多数の追加機能とUI / UXの改良がなされ、桁違いの付加価値が生まれることになるでしょう)

従来のウェブウォレットにおける課題:

- **ERC-20**トークンの送信自体ができない
- 送信できるとしても、限られたトークンにしか対応していない
- トークンを送信するために第三のアプリケーションにアクセス必要
- トークン送信時のガス設定がわかりにくい
- EQLのバーン手数料の計算が行われない
- インターフェースが複雑 (**UI/UX**の視点が欠けている)

1. ウォレットの特徴

EQLウォレットはどのようなトークンでも管理することができ、任意の取引所間で確実に承認し入出金を行える最も安全な選択肢です。**(EQLウォレットを介して取引所にアクセスすれば、ハッキングされたサイトに秘密鍵やウォレットパスワードを入力したりUTCファイルをアップロードしてしまったりするリスクがなくなります)**。

- イーサリアムまたは任意のトークンの送金
- イーサリアムと ERC-20 互換トークンの受け取り。
- ウォレットの使用を簡単にするために EQLはバーン手数料を計算し、EQL取引手数料を算出します。(DTB)
- WEB3.0 API のサポートによる開発者 — EQL間の意思疎通のしやすさ。
- 将来のDAPPおよびDEXとのシームレスな統合実現。
- 滑らかでシンプルなユーザーインターフェイスにより、どんなユーザーでもEQLウォレットを使用できます。たとえユーザーが暗号通貨について詳しい方ばかりだったとしても、暗号通貨及び、トークンの送付は単純であるべきであり、複雑であってはなりません。
- Web3.0において、EQL ウォレットは分散取引所 (DEX) とシームレスに接続され、任意のDEXとの間でEQLを簡単に送受信することができます。
- バーン手数料が自動計算されるので、初めてEQLを扱う方でも、転送プロセス時に簡単な計算なしにEQLを送受信できます。
- MyEtherWallet のようなサードパーティ・サービスを必要とせず、EQL ウォレットから直接ERC20 トークンを送金します。

EQLウォレットは、使い易さ、デザイン、そしてシンプルな暗号サービスの主流採用を可能にする包括的な目標に関し、EQLを実装する全サービスの目指すべき製品開発基準を設定します。

ロードマップ

.....

開発企画中のウォレットの仕様

1. 主要暗号通貨の追加

包括的な暗号ウォレットを作成するには、イーサリアムネットワーク外のブロックチェーン通貨をサポートする必要があります。**BTC、LTC、NEO**など主要暗号通貨を追加することが、**EQL**ウェブウォレットにおける今後のアップデートの焦点となります。

プライマリーウォレット(ウェブウォレット)の導入実現後は、**Android**版、**iOS**版の開発に着手します。

2. インセンティブ・フォー・ステーク(IFS)

インセンティブ・フォー・ステークは、近く**EQL**コアチームが実装しようとしている機能です。**IFS**が導入されれば**EQL**トークン所有者には報酬が付与されるため、ウォレット利用のさらなる促進が期待できます。**EQL**ウォレットのステーキング機能を利用しているユーザーは、ステークされた**EQL**総量の割合に応じて**EQL**トークンを報酬として得ることができます。ステーカーが受け取る**EQL**の量は、任意の期間におけるネットワーク上のトランザクショントラフィックによって大幅に変動する可能性があります。**EQL**ネットワークはトークンを生成するのではなく代わりにバーンすることで、ステーカーに取引手数料の一部を再配布仕組みになっています。

試行実施 (DTB) + (IFS)

EQLは、「バーンを通じたデフレ (DTB)」と「インセンティブ・フォー・ステーク (IFS)」の組み合わせを試行実施します。

DTBにより**EQL**の全保有者に平等な比例利益の享受を保証する一方、**IFS**により大量保有量へは多額のステーキング報酬を付与します。

この二種の機能のバランスをとることで、エアドロップ保持者 (早期参入者) は長期的に安定したインセンティブを得られますし、新規購入者もまた同様にインセンティブを得られると考えています。

IFSと**DTB**を組み合わせることで、**EQL**ウォレットにトークンを入れておくだけで容易に**EQL**をステークできるようになり、デフレ機能が働きながら1~2週間に1度のペースで**IFS**報酬が発生します。バーン手数料は当初 (**50% IFS/50% DTB**) に調整する予定です。

DTBと**IFS**の組み合わせモデルは、イーサリアムテストネットで数ヶ月にわたって試行実施され、安定性を確認の上その価値が決定されます。このような統合モデルで供給量が減少するトークンは、**EQL**を抜いて他に例がないでしょう。なお、条件については本期間中に調整が入る可能性があります。
本モデルの試行中に調整される可能性のある変数：

- 最小ステーキング量
- 最小ステーキング期間
- ステークまでの時間
- **DTB** / **IFS**の手数料率。
(**IFS**モデルは広く試行してからでなければ、**EQL**トークンの普遍機能として確定されません)



シードオファーリング/パートナーシップ

シードオファーリング

シードオファーリング・フェーズを設定したのは、開発者コミュニティに対しEQLネットワークトークンを実装した有用な暗号製品とサービスの創出を期待しているためです。

シードオファーリング・フェーズを経て構築・資金提供される製品は必ず、EQLネットワークトークンを手数料や公式決済、会員費その他本質的に実装されたユースケースを通じて使用しなければなりません。これにより開発者は収入が約束されますし、EQLトークンおよび関連サービスの利用の促進が一層期待できるのです。

プロジェクト基準の設定

EQLはプロジェクト開発基準を設定します。その基準は、公式EQLウォレットやその他コミュニティ内のサービス・製品開発を通じ、コミュニティ開発者を鼓舞するものです。

シードオファーリング・フェーズで資金提供されるプロジェクトは、暗号通貨製品およびサービスを普及させるため最適化かつ合理化に重点を置かなければなりません。特にUI/UXを重視し、性能と視覚的アピールを両立するためEQLチームが作成したブランディングとデザイン要素の活用を望みます。

アイデアのシェア/提案

開発者が非公開かつ機密的に**EQL**チームへアイデアを投稿するため、**EQL**は**Web**ページを立ち上げます。投稿内容はチームが吟味し、ユースケース、独自性、および開発者のプロジェクト遂行能力を評価します。シードオファーリングの支払いはプロジェクトの進捗状況に基づいて定期的に行われ、プロジェクトがベータテストに達するまでは付与されません。

シードパートナーシップ

.....

シードパートナーシップ・フェーズは、既存のサービスプロバイダにEQLネットワークトークンの利用を拡大させるために置かれています。EQLチームは、EQLの哲学と中核信念に沿ったサービスプロバイダーを見極めていきます。

パートナーシップに提供される金額は、以下のような多くの要素に基づいて決定されます。

サービス要素：

- 既存のユーザーベースサービス
- 今後のサービスの可能性
- **EQL**実装の深さ

EQLの将来的価値：

- 現在の**EQL**価格
- **EQL**トークン・ホルダーの数
- 現在の**EQL**時価総額

EQLチームはシード・パートナーシップ・オファーリングのために我々にアプローチするサービスおよびアプリケーション・プロバイダーも歓迎します。



チーム

TEQUALプロジェクトは、決まった事務所を持たない小規模なグローバル分散チームからひっそりとスタートしましたが、プロジェクトと地域社会の成長に対応するため現在はオーストラリアのメルボルンに集中チームを設立しています。現在のEQLチームは5人のメンバーで構成されています。当社の最初の製品立ち上げとウェブサイトのリブランド化に合わせ、正式にチームの正体を明らかにする予定です。

資金調達

EQLは、我々のネットワークやチーム、コミュニティ、製品開発計画の将来性を信頼してくれた早期参入者たちの強固なコミュニティに対し、目標であったトークン無料配布を達成しました。EQLを活用し、暗号通貨コミュニティとEQLトークンホルダーにさらなる価値を提供するような、意味ある製品開発の重視こそがコミュニティに還元するために最良だと我々は信じているのです。

ただその実現にはEQLチームの拡大が必須です。そのため以前予定していたエアドロップ3の資金はプライベートセール予算に配分し直すこととしました。チームを拡充しより良い製品を作っていけば、EQLトークンにはさらに具体的かつ長期的な価値が付くと考えています。

本セールは一人の大口投資家に独占させるようなものではなく、複数の小口投資家を対象に行います。調達した資金は人件費、設備投資、オフィスの賃料にのみ支出します。また本セールは一度きりではなく、プロジェクト成長の恩恵を受けEQLの長期的な将来に向けてチームを維持するため、一定期間にわたり戦略的に行います



ソーシャルリンク



ウェブサイト: <https://www.equaltoken.io/>



レディット: https://www.reddit.com/r/EQUAL_Network



ミディアム: <https://medium.com/@EqualToken>



テレグラム: <https://t.me/joinchat/GtLjl1JMYiTHzhaQA5CGPw>



ツイッター: <https://twitter.com/EqualToken>



ディスコード: <https://discord.gg/nCY5qgY>



ビットコイントークANNスレッド: <https://bitcointalk.org/index.php?topic=2814625.0>



ビットコイントーク バウンティスレッド: <https://bitcointalk.org/index.php?topic=2890073.0>

Total Balance
\$129,000.00
 +120%

0x1db834aD5CA73782Dcb3d889744...

Balances		History	
	ETHEREUM 67 ETH	↓ 9%	Send
	EQUAL 6,789 EQL	↑ 33%	Send
	SALT 230 SALT	↑ 19%	Send
	GOLEM 550 GNT	↓ 22%	Send
	STATUS 100 SNT	↓ 9%	Send
	Bounty0x 550 BNTY	↑ 119%	Send
	District0x 1,200 DNT	↓ 2%	Send